中小企業と高専

接点づくりのHINT

多くのモノづくり企業が理系人材・エンジニアを求める中、有力な中小企業も知名度で大手に後れを取る。人材獲得には「接点」も重要になる。新潟県の長岡高専では地元自治体と連携し、地場企業を舞台にキャリア教育を展開。学生の視野を中小企業にも広げる教育を進めている。一方、企業が本当に人材が欲しいならもっと能動的に動かなければならないという声も聞こえてくる。「接点」づくりのヒントを探る。

長岡高専

地元企業見学で就職支援

長岡高専は低学年からのキャリア教育に力を入れている。新設科目の「キャリアデザイン」では産業界の動向を学んで高専と社会の繋がりを理解し、「アントレプレナーシップ基礎」ではビジネスに関する知識を学んでビジネスプランニングに取り組む。キャリア教育の重要なイベントとして、3年生全員が参加する「工場見学」がある。早い段階から学生と地元企業の関わりをつくることで、学生が自身のキャリアに意識を向けるよう働きかけている。

9月29日、長岡高専3年生の200人あまりは、新潟県長岡市と小千谷市の企業などを見学した。各学科2グループに分かれ、貸し切りバスを用いて3カ所ずつ回る。1日がかりの大規模なイベントだ。

外山茂浩副校長は「学生たちは地元企業のことを意外と知らない。見学会で自分が学んでいることが未来でどう役立つのかを知る学生も多い」という。そして「働いている人たちの姿を見て、将来、自分が働く姿が想像できる」と語る。

見学会実施には新潟県と長岡市、小千谷市も協力している。地元就職支援の一環として、見学先企業の選定は高専の要望を聞きながら自治体が担当。企業の情報をまとめたワークシートの準備、企業訪問時のマナーに関する動画の作成、見学会終了後のアンケートなどの準備も行い、万全の体制を築いている。

見学先で、食品などへの異物検査機器を製造するシステムスクエア（新潟県長岡市）には、電子制御工学科の学生が訪れた。

長岡高専OBの従業員もサポートに入り、事業の説明や自身の働き方を紹介。「毎年興味を持ってもらい、学生からは質問もたくさんもらう。自分の卒業したあとの働き方を想像してもらえているのでは」（システムスクエア）という。工場見学を受け入れる理由について担当者は、自社への高専生の就職が叶えば嬉しいとしながらも、「長岡は他地域と比べても優位性のある企業が多くある。技術の追求や、新しいモノを生み出せる環境があるのだと知ってもらいたい」と語る。

外山副校長は「高専の5年間は長い。自分が学んでいることが何に役立つのか分からず、中だるみを感じてしまう学生もいる」と指摘し、キャリア教育の重要性を訴える。学生が納得できる自身のキャリア像を描くことができれば、その実現のために進学するか就職するかどうか、そしてどの会社を就職先に選ぶかを納得して決めることができるだろう。

▲システムスクエアを見学。検査機のデモンストレーションは長岡高専OBの従業員が行った

高専との接点

中小企業ーまず「教員に知ってもらう」

「中小企業が高専と接点をつくるにはどうしたらいいか」―。優秀なエンジニアを採用したい中小企業が最初にぶつかる難問だ。

大阪中小企業投資育成（大阪市北区）は、8月末に開いた投資先交流会の意見交換会に大阪公立大学高専の杉浦公彦教授を招いた。投資先企業に高専とつながる糸口をつかんでもらうのが狙い。杉浦教授は自身の指導方針を踏まえて、中小企業が〝できること〟を解説した。

「学校に求人票を送るだけというのは大手でもダメ。私の場合、会いに来てもらえば『こんな企業が訪ねてきた』と授業の中で紹介する」と杉浦教授。重要なのは「〝教員に〟知ってもらうことだ」と力を込めた。

地元志向の学生を含め、高専生が中小企業に目を向けるきっかけはインターンシップが多い。インターンシップ先は大手企業が人気だが、行き先を決め切らない学生もいる。「相談されたら大手、中小を問わず、個々の性格に合いそうな企業を勧める」。教員の〝引き出し〟に入れているかどうかがカギというわけだ。「高専での企業説明会や、こうした交流会が、教員が企業を知る機会になる」と杉浦教授は言う。

一方で「中小企業は即戦力として高専生を求めるが、それは間違い」とも。「高専生は社会的に極めて純粋。1年間はじっくり見てほしい。高専生のプロパティを理解して育ててもらえば5年後には中核を担う人材になる」と説いた。

大阪投資育成は投資先企業の人材確保を支援するため高専とのネットワークづくりに力を入れている。今回の交流会はコイルラインなどを手がけるユタニ（大阪府八尾市）で開催。ユタニの辰巳芳丈社長は「これをきっかけに高専生獲得にチャレンジしてみたい」と意気込んだ。

▲ユタニで開いた投資先交流会（説明に立つ杉浦教授）

奨学金ー企業が代わりに返還

支援制度利用 4000社突破

学生の不安解消

日本学生支援機構（ＪＡＳＳＯ）が2021年４月から開始した「企業等の奨学金返還支援（代理返還）制度」の利用企業は25年８月現在で4000社を超え、前年同月比72%の伸びだ。学生のお金に関する不安を取り除き、人材確保や福利厚生充実をはかる動きは急ピッチで拡大している。

通常、無利子の第一種奨学金で自宅外の高専本科生の場合、５年間で総額203万4000円を貸与される。学生は就職後、14年間にわたり月額で１万2107円ずつの返還が必要となる。同制度ではその全額または一部を企業が機構に直接送金し、入社した社員の奨学金返還をサポートする。

給与加算で支給される場合に比べ、給与と返還額部分が明確に区分され、返還額に係る所得税が基本的には非課税となる。また企業側は給与として損金算入できるのに加え、「賃上げ促進税制」の対象となる給与等支給額にも該当し、一定要件を満たす場合に法人税の税額控除適用を受けられる。

地方自治体が中小企業向けに奨学金の返還支援制度を設けている場合もある。ＪＡＳＳＯのホームページでは都道府県主体の支援制度を紹介しており、地元で就職を考える人は一度見てほしい。

進学支援を充実

一方で奨学金の代理返還は制度を利用する社員と利用しない社員の公平性担保の課題がある。その解の一つとして進学支援に注目する企業もある。従業員2000人を超す東レエンジニアリングでは、社員として所属しながら、開発部門が共同研究を行う大学院などへ進学支援する制度を持つ。従業員の約１%が利用している。

給与支給の条件はさまざまだが、２年間の進学などにも利用できる休暇制度を設ける企業もある。就職後の学びを支援する福利厚生にも注目し、志望する就職先の人事担当者に尋ねてほしい。

奨学金返還支援の事例

三井三池製作所	JASSOの奨学金代理返還制度
湘南技術センター	入社後5年間で総額100万円を補助（JASSO奨学金が対象）
名南製作所	会社が認めた奨学金に関し代理返還支援制度を設置
モリタ東京製作所	会社が認めた奨学金に関し入社後72カ月補助（上限年額12万円）
サンシード	入社から6年間利用可能（上限年額12万円）
東京水道	30歳以下は月額1万円、30-40歳は5,000円を補助
伊東電機	入社後17年間全額補助（上限年額18万円）。兵庫県内勤務など諸条件あり

進学支援事例

東レエンジニアリング	社員として所属しながら進学支援（大学院の修士／博士課程など）の実績あり
イシダ	MBA（経営学修士）やMOT（技術経営修士）が取得できる大学院への進学支援。学費、交通費などの費用は会社負担
SUS	香川大学と提携し、社員として所属しながら進学支援（大学・大学院）など行う
日本触媒	国内留学制度を設けており、大学への進学を支援
新明和工業	「社会人博士課程派遣制度」を運用。入学金、授業料は全額会社負担
アズビル	大学・大学院での修学・海外留学などを目的に、最大2年間休職できる制度あり
ホリゾン	長期休暇制度「Mind innovation Holiday」があり、進学時に利用可能

日刊工業新聞社アンケート調査回答企業より作成

掲載早見表

先輩113人掲載！（10月1日付、2日付の合計）

なりたい“ロールモデル”を探そう

本日は、高専生を応援する21の企業・団体を一覧形式で紹介

（便宜上、学科アイコンで表記していますが、人物本位、能力本位の採用です。
機 機械系、材料系　電 電気・電子系　情 情報系　化 化学系、生物系　建 建設系、建築系
船 商船系　社 社会的ニーズに対応した分野の学科　複 複合系学科）

会社名（50音順）	業種（主な製品・サービス）	積極採用学科	本紙掲載の「先輩紹介」 卒業校（※）	掲載ページ	広告ページ
アンリツ	製造業（電気機械器具製造業）	機 電 情 化 建 船 社 複	富山高専 電	16	15
市金工業社	製造業（産業用機械装置）	機 電	—	—	18
伊東電機	電気機械器具製造業（搬送用機器）	機 電 情	津山高専 電	17	17
大河内金属	製造業（アルミ素材・加工品）	機 電 情 化 建 船 社 複	—	19	18
大阪シーリング印刷	製造業（シール・フィルム・紙器パッケージ）	機 電 情 化 複	福井高専 化	17	17
大阪中小企業投資育成（提供）	公的金融機関	投資先企業が高専生を採用	—	—	17
川金コアテック（川金ＨＤ）	製造業（土木建築用機材の設計から販売）	機 電 情 化 建 船 社 複	—	15	16
菊池精器製作所	製造業（電気機械器具）	機 電 情 化 社 複	茨城高専 機	19	15
キヤノンＩＴソリューションズ	情報通信業（情報サービス業、SIer）	機 電 情	—	15	13
京光製作所	製造業（電子部品・成形）	機 電 情 化 建 船 社 複	—	—	15
栗本鐵工所	製造業（鉄鋼・機械・プラント）	機 電 情 化 建 船 社 複	—	16	14
ゴール	製造業（錠前の設計・製造・販売）	機	米子高専 電	17	17
ＳＡＮＭＡＴＳＵ	製造業（金属加工、FA装置設計）	機 電 情 化 建 船 社 複	久留米高専 機	17	17
多摩川電子	製造業（情報通信機械器具製造業）	機 電 情 複	苫小牧高専 電	19	15
長浜製作所	製造業（業務用機械器具）	機 電 情	—	16	18
プライムプラネットエナジー＆ソリューションズ	製造業（車載用リチウムイオン電池）	機 電 情 化 建 船 社 複	—	—	18
フルサト・マルカホールディングス	卸売業、小売業（機械器具及び建築資材卸売業）	機 電 情 建	事業紹介 —	16	19
マイクロテック・ラボラトリー	製造業（電気機械器具製造業）	機 電 情	東京高専 機	19	16
明和製作所	製造業（電気モータ・ギア製品の設計生産）	機 電 複	—	—	15
モリタ東京製作所	製造業（医療機器）	機 電 情 化 社	東京都立産技高専 社	15	14
安川電機	製造業（サーボモータ、インバータ、産業用ロボット）	機 電 情	宇部高専 情	19	13

※高専卒業者のみ学校名を記載（非公表の場合あり）。

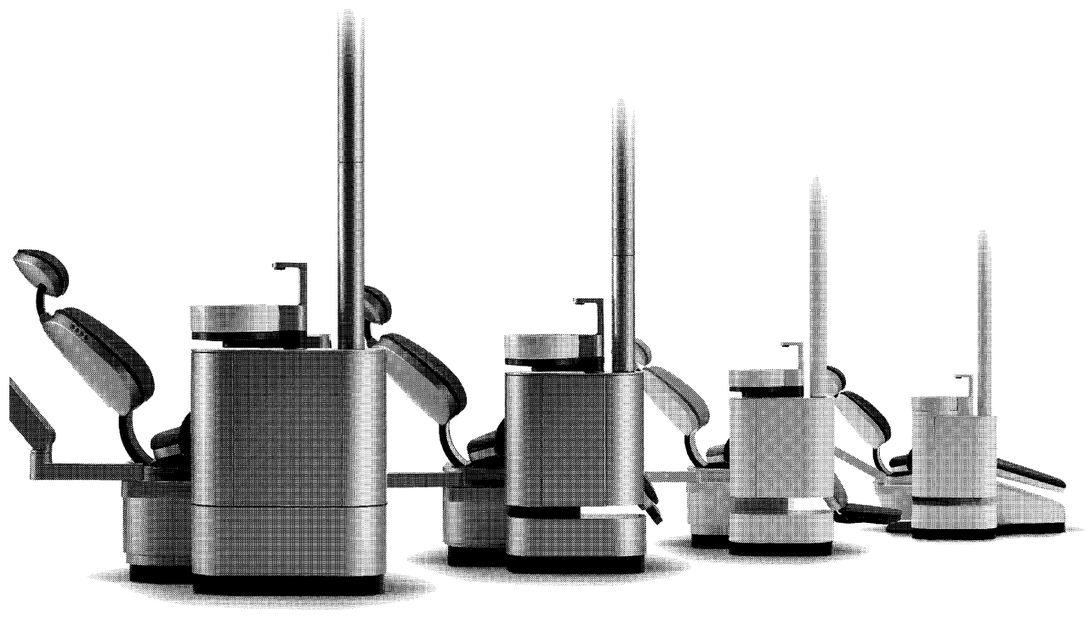
クリモトは1909年の創業以来、快適で安心して暮らせる社会の実現のため、
社会のインフラ設備や産業設備の拡充に貢献してきました。
新しいチャレンジで、夢ある未来にチャレンジしていく。
我々はチームクリモトとして一丸となり、「変わる」ことを恐れず挑戦し続けます。

株式会社 栗本鐵工所
〒550-8580　大阪市西区北堀江1丁目12番19号
https://recruit.kurimoto.co.jp/

reddot design award best of the best 2019

Thinking ahead. Focused on life.
すこやかな未来へ。

MORITA



2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門 ネクストブライト1000

歯科医療の発展に貢献する
株式会社モリタ東京製作所
〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室7129番地